

市の民の声



川辺町 田部田 大園 良一

議会と執行部に望むこと

急速に進む地域の高齢化を目の当たりにして、地元を何とかせんといかんと立候補を決意し当選したと思います。議員と市民は切っても切れない関係にあり、市民との距離をいかに縮めるか議員としても責任がある。しかし、議会に議員を送りっぱなしにしている市民が多いのが現実である。

その一つの表れに議会傍聴者の少なさがある。三町が合併して早や5年を経ても議員の顔が見えない。そこで旧三町

議場を活用して輪番制にして週末などに議会を開催したら議会傍聴者が増えて議員の一般質問も増え、活発な議論により議場を沸かすと思います。議員の価値は閉会中にいかに調査研究し、研鑽を積んだかで決まると思います。その結果が素晴らしい充実した質問となつて結実するのです。執行部は「検討します」「調査します」など一遍の回答に終始しないよう、また、答弁に窮して議会を中断させることのないよう十二分に勉強して議会に臨むべきであり、議員も執行部もしっかりと政策を勉強して問題の精髓に迫った議論をすべきであります。議会と執行部が丁々発止の論をすることにより、傍聴者も目を見開き、その数も倍増するはずであります。

市民の声で市政発展を議員に託してやまない。

知覧町 郡

宮原 春雄

地域をこえたまちおこし

知覧町の後岳地区にて、無農薬茶の栽培をしており、エコファーマーとしての認定を受けました。きっかけは、周りの自然の木々には虫がついても枯れないのに、なぜお茶の木だけが枯れてしまうのだろうか？と考えたことです。また、同時期に環境問題がよく取り上げられていたこともきっかけのひとつです。消費者の皆さまに安心して飲んでもらえる安全なお茶作りをいつも心がけています。

私は3年前に開催された特産品フェアの会場で鹿児島大学稲盛アカデミーの萩原豪先生と知り合いました。そして現在、萩原先生が担当する環境教育科目の受講生が組織

する環境サークル「チームたんぽぽ」の学生たちと交流をしています。先日、彼らが企画したかごしま茶の試飲会が鹿児島大学食で開かれました。今年で4回目ですが、昨年から私の作った知覧茶を試飲用として提供し、2日目に彼らの活動風景を見てきました。

普段急須でお茶を飲まない若い世代の方が、おいしいと言って飲むところを目の当たりにして、とても嬉しく思えました。私たち生産者と消費者は直接

顔が見えにくい関係にあります。偶然にでも知り合うことができ、とても新鮮に感じました。

南九州市のまちおこしのためには、若い人の力が必要だと言われます。

萩原先生や学生たちとの交流のように、地域を超えて協力しあうことが、今後の町おこしにはとても重要だと思います。



編集後記

日本一の山「富士山」に含まれる史跡や名勝、文化財が世界文化遺産に登録されました。

現在南九州市でも、知覧特攻平和会館の収蔵資料を「世界記憶遺産」として登録を目指しています。

先日は、大島郡内の男性から世界記憶遺産への報道を知り「平和事業のために使ってほしい」と1525万1千円の寄付があり、大変ありがたいことでした。

私たち市民も関心を持ち今後の成り行きを見守りながら応援し、世界記憶遺産に登録されるよう頑張りたいものです。

(峯芒)

▼広報編集委員会

委員長 峯芒 勝範
副委員長 田畑浩一郎
委員 亀甲 俊博

下窪 一輝
西 次雄
吉永 賢三